



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月11日

上場会社名 株式会社アクセル 上場取引所 東
 コード番号 6730 URL <https://www.axell.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 松浦 一教
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理グループ (氏名) 田中 大輔 TEL 03-5298-1670
 定時株主総会開催予定日 2026年6月18日 配当支払開始予定日 2026年6月19日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月16日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	14,656	△3.9	1,664	13.9	1,792	16.2	1,230	25.7
2025年3月期	15,244	△13.2	1,461	△39.8	1,542	△37.0	978	△44.8

(注) 包括利益 2026年3月期 1,412百万円 (45.5%) 2025年3月期 971百万円 (△49.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	113.71	113.60	9.3	11.5	11.4
2025年3月期	89.37	89.12	7.6	10.1	9.6

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 ー百万円 2025年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	16,109	13,732	84.3	1,261.31
2025年3月期	15,042	13,015	85.6	1,174.61

(参考) 自己資本 2026年3月期 13,583百万円 2025年3月期 12,878百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	223	△498	△714	5,670
2025年3月期	△1,575	△766	△873	6,600

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2025年3月期	ー	0.00	ー	45.00	45.00	493	50.4	3.8
2026年3月期	ー	0.00	ー	57.00	57.00	613	50.1	4.7
2027年3月期(予想)	ー	0.00	ー	41.00	41.00		49.6	

(注) 2026年3月期における1株当たり期末配当金につきましては、49円から57円に変更しております。詳細につきましては、本日(2026年5月11日)公表いたしました「剰余金の配当(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,150	6.7	970	△15.5	1,000	△18.5	700	△18.5	64.99
通期	15,000	2.3	1,200	△27.9	1,270	△29.1	890	△27.6	82.63

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期	11,211,989株	2025年3月期	11,211,989株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期	442,336株	2025年3月期	247,772株
----------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数

2026年3月期	10,817,047株	2025年3月期	10,951,359株
----------	-------------	----------	-------------

（参考）個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	14,127	△5.3	1,416	3.6	1,570	9.4	1,113	36.0
2025年3月期	14,918	△13.2	1,367	△39.8	1,434	△37.4	818	△47.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	102.89	102.80
2025年3月期	74.71	74.50

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	15,140	13,035	86.0	1,208.76
2025年3月期	13,952	12,458	89.1	1,133.66

（参考）自己資本 2026年3月期 13,018百万円 2025年3月期 12,429百万円

2. 2027年3月期の個別業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,000	7.9	930	△16.6	670	△17.3	62.21
通期	14,600	3.3	1,100	△30.0	790	△29.0	73.35

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明動画の入手方法）

決算補足説明資料及び決算説明動画につきましては当社ウェブサイトへの掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	15
(重要な後発事象の注記)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気は緩やかに回復しているものの、米国の通商政策や中東情勢の動向による景気の下振れリスクには留意が必要な状況にあります。また、金融資本市場の変動による影響も注視する必要があります。先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、スマート遊技機への移行は着実に進展したものの、市場全体としては減速感が見られる一年となりました。パチンコ機市場は、新ルールを搭載したスマートパチンコの導入が堅調に推移したものの、足元では減速感が見られており、全体での販売台数は前年を下回る結果となりました。一方、パチスロ機市場は、スマートパチスロが引き続き市場を牽引し、全体としても底堅い推移を見せました。その結果、当社の市場規模の目安となるパチンコ・パチスロ機の年間新台販売台数は、前期153万台に対して148万台程度だったものと推計しております。

かかる環境の中で当社グループは、パチンコ・パチスロ機市場における市場シェア拡大や高付加価値製品への移行、中期的な製品ポートフォリオ拡充に向けた取り組みに注力いたしました。あわせて、AI領域の事業展開を推進し、同領域における認知度向上を図るとともに、顧客基盤の着実な拡大に注力いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期比587百万円減（同3.9%減）となる14,656百万円、売上総利益は同321百万円増（同7.3%増）となる4,709百万円となりました。売上総利益率は高付加価値製品への移行が進捗し、相対的に利益率の低い製品の販売構成比率が低下したこと等により、3.3ポイント改善となる32.1%となっております。販売費及び一般管理費は研究開発費の増加等により、前期比117百万円増（同4.0%増）となる3,044百万円となりました。また、販売費及び一般管理費のうち研究開発費は同93百万円増（同6.0%増）となる1,641百万円となっております。

以上により、営業利益は前期比203百万円増（同13.9%増）となる1,664百万円、経常利益は前期比249百万円増（同16.2%増）となる1,792百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同251百万円増（同25.7%増）となる1,230百万円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。また、下記セグメントのほか、各セグメントに配分していない全社費用が733百万円となっております。

なお、当連結会計年度末より、報告セグメントの名称を従来の「LSI開発販売関連」および「新規事業関連」から「LSI事業」および「AI事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

①LSI事業

LSI事業セグメントは、既存事業であるパチンコ・パチスロ機向け製品で構成されており、売上高は前期比1,010百万円減（同6.8%減）となる13,793百万円、セグメント利益は同44百万円減（同1.7%減）となる2,566百万円となりました。製品別では、主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックスLSIは、前期に比較して約4万個減少となる約46万個の販売となりました。また、新規販売ベースでのメモリモジュール（注1）製品は、前期を下回る販売数となりました。これらの販売個数の減少は、主にパチンコ・パチスロ機の年間新台販売台数が前期を下回ったことによるものであります。主力製品の市場シェアについては引き続き堅調に推移しているものと分析しております。なお、当期末の同セグメントの受注残高は14,929百万円となっております。

②AI事業

AI事業セグメントは、AI領域を主軸とした事業を展開しており、特に当社が長年培ってきたハードウェア開発の知見を最大限に生かせる「AIコンピューティング領域」に注力しております。なお、組み込み機器市場（注2）向けグラフィックスLSIやブロックチェーン等の領域についても、継続して同セグメントの管理区分に含めております。同セグメントにおける売上高は前期比422百万円増（同96.0%増）となる862百万円、セグメント損失は同327百万円減（前期は495百万円の損失）となる168百万円となりました。

（注1）「メモリモジュール」とは、パチンコ・パチスロ機の画像表示用基板に搭載される画像データを保持しておく部分の仕組みを意味しております。

（注2）「組み込み機器市場」とは、パチンコ・パチスロ機以外の組み込み機器の製造に係る市場として使用しております。組み込み機器とはコンピュータが内部に組み込まれており、そのコンピュータに特定のアプリケーションに特化した処理を行わせる電子装置を意味しております。医療機器や自動販売機、生活家電など多種多岐にわたる機器が組み込み機器に該当いたします。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末との比較で1,066百万円増加となる16,109百万円（同7.1%増）となりました。主な要因は、売掛金及び契約資産の増加（195百万円）、商品及び製品の増加（951百万円）、投資有価証券の増加（637百万円）に対し、現金及び預金の減少（830百万円）等であります。

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末との比較で350百万円増加となる2,377百万円（同17.3%増）となりました。主な要因は、未払法人税等の増加（393百万円）等であります。

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末との比較で716百万円増加の13,732百万円（同5.5%増）となりました。主な要因は、利益剰余金の増加（736百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（161百万円）に対し、自己株式の取得等（196百万円）等であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は5,670百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりとなっております。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動により獲得した資金は223百万円（前期は1,575百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益（1,783百万円）、その他の流動負債の増加（246百万円）に対し、売上債権の増加（195百万円）、棚卸資産の増加（951百万円）、その他の流動資産の増加（220百万円）、仕入債務の減少（375百万円）、法人税等の支払額（264百万円）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動により支出した資金は498百万円（前期は766百万円の支出）となりました。これは主に投資事業組合からの分配による収入（62百万円）に対し、有形固定資産の取得による支出（85百万円）、投資有価証券の取得による支出（445百万円）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動により支出した資金は714百万円（前期は873百万円の支出）となりました。これは主に自己株式の取得による支出（227百万円）、配当金の支払額（493百万円）等によるものであります。

（キャッシュ・フロー関連指標の推移）

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率（%）	86.0	83.5	81.9	85.6	84.3
時価ベースの 自己資本比率（%）	93.9	140.4	136.8	79.4	71.5
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率（%）	—	—	—	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注2）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注3）有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

次期のパチンコ・パチスロ機市場は、パチスロ機においてスマートパチスロを中心に堅調な需要が継続すると想定される一方、パチンコ機市場については、需要の回復を慎重に見定める局面にあると見込んでおります。このような市場見通しのもと、顧客ヒアリング等をはじめとする詳細な市場分析を実施した結果、次期におけるパチンコ・パチスロ機の年間販売台数は、パチスロ機が当期並みの水準を維持する一方、パチンコ機が当期を下回る推移となることを想定し、135万台（当期は148万台程度と推定）を前提として業績予想算定の基礎といたしました。

主力製品であるパチンコ・パチスロ機市場向け製品は、市場規模の想定に加え、顧客ヒアリング等を基礎にリユース比率の上昇を見込んでおります。グラフィックスLSIは前期比約15万個減の31万個の販売計画、メモリモジュール製品は前期比減少の販売計画といたしました。一方で、LEDドライバは採用顧客の需要動向により、前期を上回る販売計画といたしました。AI事業においては、前期に寄与した大口受託案件の完了に伴い、前期を下回る販売計画といたしました。

また、生成AI需要の拡大に伴う世界的なメモリ価格の高騰を受け、メモリモジュール等の一部製品で製造原価の上昇を見込んでおります。これに対し、製品の付加価値に応じた販売価格の適正化を順次進めております。この価格調整の結果、売上総利益率は低下いたしますが、製品個別の売上総利益（粗利単価）については前期並みの水準を維持できる見通しです。

以上の分析を踏まえ、次期の売上高は前期比343百万円増となる15,000百万円（2.3%増）を計画いたしました。市場規模の縮小等により販売個数の減少を見込んでおりますが、前述の販売価格の適正化を実施した結果、前期を上回る売上高を見込んでおります。売上総利益は前期比309百万円減となる4,400百万円（同6.6%減）を見込んでおります。市場規模の縮小等により前期を下回る売上総利益を見込んでおります。売上総利益率では前期比2.8ポイント低下となる29.3%を見込んでおりますが、これは主に前述の販売価格の適正化の影響等によるものです。また、販売費及び一般管理費は、主に試作開発費の増加を見込んでおり、前期比155百万円増となる3,200百万円（同5.1%増）を見込んでおります。

以上により、営業利益は前期比464百万円減となる1,200百万円（同27.9%減）、経常利益は同522百万円減となる1,270百万円（同29.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は同340百万円減となる890百万円（同27.6%減）の計画といたしました。

なお、中東情勢の緊迫化が部材供給や経済状況に与える影響については、現時点での当社業績への影響は軽微であり、入手可能な情報に基づき業績予想を算定しております。しかしながら、外部環境の不透明感は依然として高く、今後の動向を継続して注視する必要があります。

（注）本資料に記載の将来に関する全ての記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、不確実性を多分に含んでおります。当社としてその実現をお約束するものではありません。実際の業績は、様々な要因から業績予測と異なる結果となる可能性がありますことをご留意ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

財務諸表は、会社法上の分配可能額の計算や法人税法上の課税所得の計算においても利用されることを鑑み、当社グループは会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,000	4,170
売掛金及び契約資産	1,488	1,684
有価証券	1,600	1,500
商品及び製品	3,908	4,859
仕掛品	3	3
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	410	587
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,411	12,804
固定資産		
有形固定資産		
建物	206	208
減価償却累計額	△149	△154
建物（純額）	57	54
工具、器具及び備品	799	843
減価償却累計額	△665	△711
工具、器具及び備品（純額）	133	132
有形固定資産合計	191	186
無形固定資産		
ソフトウェア	24	12
その他	5	4
無形固定資産合計	29	17
投資その他の資産		
投資有価証券	2,179	2,817
繰延税金資産	67	118
その他	162	164
投資その他の資産合計	2,410	3,100
固定資産合計	2,631	3,304
資産合計	15,042	16,109

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,571	1,195
未払法人税等	76	470
未払消費税等	—	104
その他	336	563
流動負債合計	1,984	2,334
固定負債		
資産除去債務	42	42
固定負債合計	42	42
負債合計	2,026	2,377
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,028	1,028
資本剰余金	987	991
利益剰余金	10,714	11,451
自己株式	△195	△391
株主資本合計	12,535	13,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	343	504
その他の包括利益累計額合計	343	504
新株予約権	28	17
非支配株主持分	108	130
純資産合計	13,015	13,732
負債純資産合計	15,042	16,109

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	15,244	14,656
売上原価	10,856	9,947
売上総利益	4,388	4,709
販売費及び一般管理費	2,926	3,044
営業利益	1,461	1,664
営業外収益		
受取利息	3	12
受取配当金	54	45
為替差益	—	49
投資事業組合運用益	49	19
その他	9	7
営業外収益合計	116	133
営業外費用		
為替差損	34	—
株式報酬費用消滅損	—	2
その他	0	4
営業外費用合計	34	6
経常利益	1,542	1,792
特別利益		
新株予約権戻入益	0	8
その他	—	0
特別利益合計	0	8
特別損失		
減損損失	9	5
投資有価証券売却損	125	—
会員権評価損	—	12
その他	4	—
特別損失合計	139	17
税金等調整前当期純利益	1,404	1,783
法人税、住民税及び事業税	430	656
法人税等調整額	△11	△125
法人税等合計	418	531
当期純利益	985	1,251
非支配株主に帰属する当期純利益	6	21
親会社株主に帰属する当期純利益	978	1,230

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	985	1,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	161
その他の包括利益合計	△14	161
包括利益	971	1,412
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	964	1,391
非支配株主に係る包括利益	6	21

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,028	969	10,621	△217	12,401
当期変動額					
剰余金の配当			△885		△885
親会社株主に帰属する 当期純利益			978		978
自己株式の処分		17		22	40
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	17	93	22	133
当期末残高	1,028	987	10,714	△195	12,535

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計			
当期首残高	357	357	30	101	12,891
当期変動額					
剰余金の配当					△885
親会社株主に帰属する 当期純利益					978
自己株式の処分					40
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△14	△14	△1	6	△9
当期変動額合計	△14	△14	△1	6	124
当期末残高	343	343	28	108	13,015

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,028	987	10,714	△195	12,535
当期変動額					
剰余金の配当			△493		△493
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,230		1,230
自己株式の取得				△226	△226
自己株式の処分		4		29	33
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	4	736	△196	544
当期末残高	1,028	991	11,451	△391	13,079

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	その他の包括利益累 計額合計			
当期首残高	343	343	28	108	13,015
当期変動額					
剰余金の配当					△493
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,230
自己株式の取得					△226
自己株式の処分					33
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	161	161	△10	21	172
当期変動額合計	161	161	△10	21	716
当期末残高	504	504	17	130	13,732

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,404	1,783
減価償却費	94	95
のれん償却額	5	—
減損損失	9	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
株式報酬費用	27	24
受取利息及び受取配当金	△57	△57
投資事業組合運用損益 (△は益)	△49	△19
投資有価証券売却損益 (△は益)	125	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△380	△195
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,472	△951
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△218	△220
仕入債務の増減額 (△は減少)	184	△375
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△311	246
未払又は未収消費税等の増減額	8	138
その他	△35	△41
小計	△667	431
利息及び配当金の受取額	56	55
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△964	△264
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,575	223
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△101	△85
無形固定資産の取得による支出	△11	△1
投資有価証券の取得による支出	△717	△445
投資有価証券の売却による収入	24	—
投資事業組合からの分配による収入	61	62
会員権の取得による支出	△20	△44
会員権の売却による収入	—	20
その他	△0	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△766	△498
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△227
配当金の支払額	△884	△493
ストックオプションの行使による収入	11	6
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△873	△714
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	59
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,215	△930
現金及び現金同等物の期首残高	9,816	6,600
現金及び現金同等物の期末残高	6,600	5,670

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、既存事業である「LSI開発販売関連」を主たる事業、今後の成長を担う「新規事業関連」を報告セグメントとして認識しておりましたが、従来「LSI開発販売関連」としていた報告セグメントの名称を「LSI事業」に、従来「新規事業関連」としていた報告セグメントの名称を「AI事業」に名称変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

「LSI事業」は、パチンコ・パチスロ機向け製品の開発販売、「AI事業」は、AI領域における製品の開発販売及びソリューションの提供に加え、組み込み機器向け製品の開発販売、ミドルウェア、ブロックチェーン、セキュリティ領域における製品の開発販売及びソリューションの提供を行っております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分及び名称に基づき作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	LSI事業	AI事業			
売上高					
外部顧客への売上高	14,804	440	15,244	—	15,244
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,804	440	15,244	—	15,244
セグメント利益又は損失(△)	2,610	△495	2,115	△654	1,461
その他の項目					
減価償却費	70	11	81	13	95
のれん償却額	—	5	5	—	5
減損損失	—	9	9	—	9

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△654百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 資産及び負債については事業セグメントに配分していないため記載しておりませんが、減価償却費については合理的な基準に基づき各セグメントに配分しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	LSI事業	AI事業			
売上高					
外部顧客への売上高	13,793	862	14,656	—	14,656
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,793	862	14,656	—	14,656
セグメント利益又は損失(△)	2,566	△168	2,398	△733	1,664
その他の項目					
減価償却費	73	8	82	13	95
減損損失	—	5	5	—	5

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△733百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般経費であります。
2. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。
3. 資産及び負債については事業セグメントに配分していないため記載しておりませんが、減価償却費については合理的な基準に基づき各セグメントに配分しております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,174.61円	1,261.31円
1株当たり当期純利益	89.37円	113.71円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	89.12円	113.60円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	13,015	13,732
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	136	148
(うち新株予約権(百万円))	(28)	(17)
(うち非支配株主持分(百万円))	(108)	(130)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	12,878	13,583
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	10,964,217	10,769,653

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	978	1,230
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	978	1,230
普通株式の期中平均株式数(株)	10,951,359	10,817,047
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	31,553	10,462
(うち新株予約権(株))	(31,553)	(10,462)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。